

## 地域における音環境の調査と提案

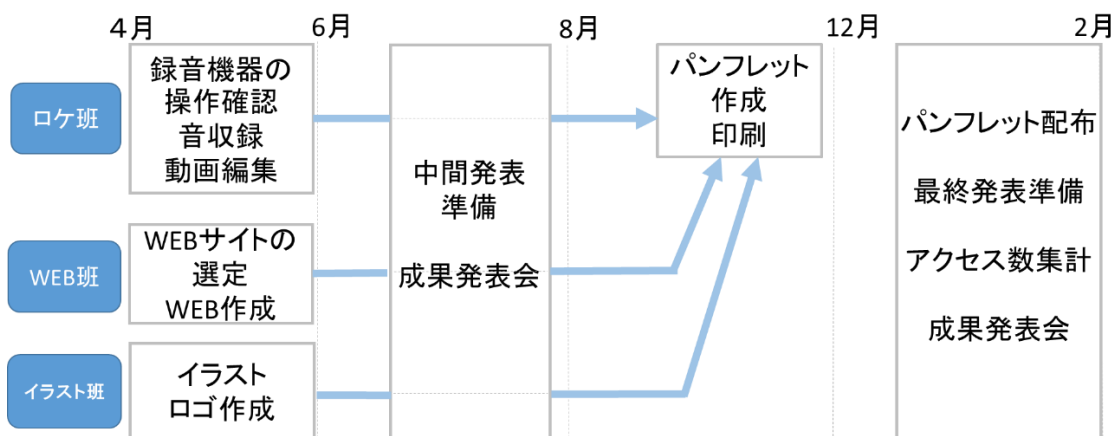
メンバー：河野純 板谷州啓 佐藤由芽 瀬川三冬 富塚汐音 長谷川柊斗 半澤直諭

担当教員：今野英明

### 1. プロジェクトの背景・目的・概要

函館市は、多くの観光地を持つ魅力的な観光都市です。しかし、進学や就職で函館を離れる若い人々が多いことも事実です。そこで、私たちは函館特有の「音」を新たな観光資源として捉え、観光客および函館を離れた、あるいは離れる予定の若者を対象に「音」を発信することとしました。観光客には観光を「音」という新たな視点から楽しんでもらい、若者には日常の中で何気なく聞いていた「音」を懐かしみ将来的に函館に戻りたいと感じてもらうことが目的です。そして、その手段として函館の音を掲載する Web サイト「SoundMap」を作成することが本プロジェクトの目標です。

### 2. 年間スケジュール表



### 3. プロセスと成果

活動するにあたって観光資源となる音を収録するロケ班、Web サイトを作成する Web 班、プロジェクトに必要なイラストなどを作成するイラスト班に分かれて活動しました。ロケ班は、一眼レフカメラ (Nikon D5600) とレコーダー (TASCAM DR-701D) を使用し収録を行いました。その際、撮る角度や音源との距離に注意し活動しました。また、収録したデータを動画編集ソフトウェア VideoPad で編集し、視聴者が見やすいような動画を作成しました。収録した場所はハリストス正教会など計 13 ヶ所です。また、後期には広報のためのパンフレットの作成も行いました。



収録の様子

Web 班は、函館の音を多くの人々に知ってもらうために函館特有の音の動画を掲載した Web サイトを作成しました。サイトのデザインが多彩で、容量が大きく、他の SNS と連携しやすい Web サイト作成プラットフォームである Wix で作成を行いました。また、手軽に函館の音や動画を視聴していただくため、Tumblr でも動画を掲載しました。

## hakodate sound 2018

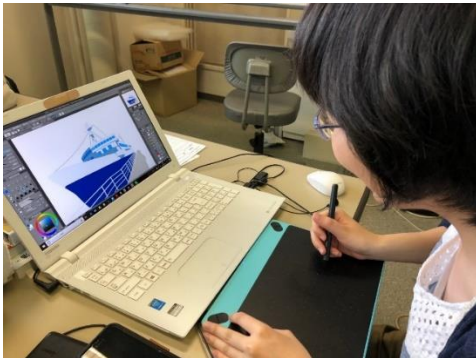


Tumblr(左) <https://hakodatesound2018.tumblr.com/>



SoundMap(右) <http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/soundmap/>

デザイン班は、イラストソフト CLIPSTUDIO を使い、SoundMap の絵と SoundMap のロゴを作成しました。ロケ班が音を収録した場所をイラスト化し、SoundMap 上のアイコンにしています。ロゴは、見やすく親しみやすいフォントで、函館市らしさを感じられデザインにしました。



摩周丸のイラストを作成している様子



作成した SoundMap のロゴ

全体の活動としては、作成したパンフレットを市役所など計 14 ヶ所に 200 部配布し広報に努めました。その結果、一般の方がパンフレットを持ち帰った部数が 38 部（2019.01.31 時点）、Web サイト（SoundMap）のアクセス数は 149 回（2019.02.14 時点）でした。また SoundMap 内で行った居住地アンケートは函館の方が 8 名、国内の方が 2 名という結果になりました。



パンフレット（内）

パンフレット（外）

#### 4. 総括と反省・今後の課題

私たちの一年間の活動は、前年度の音の更新、収録地の拡大、SoundMap の作成、広報、またアンケートの実施です。今後の課題としては三つあげられます。まず一つ目は、Web サイトのアクセス数の増加です。Twitter やパンフレットを用いて広報を行いました。結果としてアクセス数は思った程に伸びませんでした。二つ目は、スマートフォンでのアンケート表示不具合の改善です。当初の予定としては、パソコンでもスマートフォンでもアンケートが表示される仕様でしたが、不具合のためスマートフォンでは表示されませんでした。そのため、アクセス数に対してアンケートの回答数が非常に少ない結果となりました。スマートフォンからサイトを見る人のほうが多いと想定していたので、大きな影響がありました。三つ目はアンケートの質問項目の増加です。Wix の仕様上、質問項目を 1 つしか設定できなかったため、居住地についての質問のみとなりました。「函館の音の魅力が伝わったかどうか」、という私たちの本来の目的の結果を確認できる質問を設置できれば、より私たちの活動の成果が目に見えてわかったと思います。

#### 5. 地域からの評価

発表会に参加してくださった方からの反響としては、前向きなコメントが多く寄せられました。その内容として、「函館の観光を「音」という観点から楽しむという発想は面白いと思った。」や「パンフレットの作成、Web サイトの作成、どれに置いても創造性豊かで楽しいものでした。」など良い反響が得られました。

#### 謝辞

本プロジェクトのパンフレット設置などの広報活動を快く承諾してくださった函館市内各施設の皆様、アンケート回答にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。